

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号  
**実用新案登録第3143517号**  
**(U3143517)**

(45) 発行日 平成20年7月24日(2008.7.24)

(24) 登録日 平成20年7月2日(2008.7.2)

(51) Int.Cl. F 1  
**A 4 4 B 19/26 (2006.01)** A 4 4 B 19/26

評価書の請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 実願2008-3133 (U2008-3133)  
 (22) 出願日 平成20年5月15日(2008.5.15)  
 (31) 優先権主張番号 096216508  
 (32) 優先日 平成19年10月3日(2007.10.3)  
 (33) 優先権主張国 台湾(TW)

(73) 実用新案権者 506206395  
 中傳企業股▲分▼有限公司  
 台湾桃園縣龍潭▲鄉▼烏林村工二路151  
 號  
 (74) 代理人 100087767  
 弁理士 西川 惠清  
 (74) 代理人 100085604  
 弁理士 森 厚夫  
 (74) 代理人 100155745  
 弁理士 水尻 勝久  
 (74) 代理人 100143465  
 弁理士 竹尾 由重  
 (74) 代理人 100155756  
 弁理士 坂口 武  
 (72) 考案者 林 於賢  
 台湾桃園縣龍潭鄉烏林村工二路151號

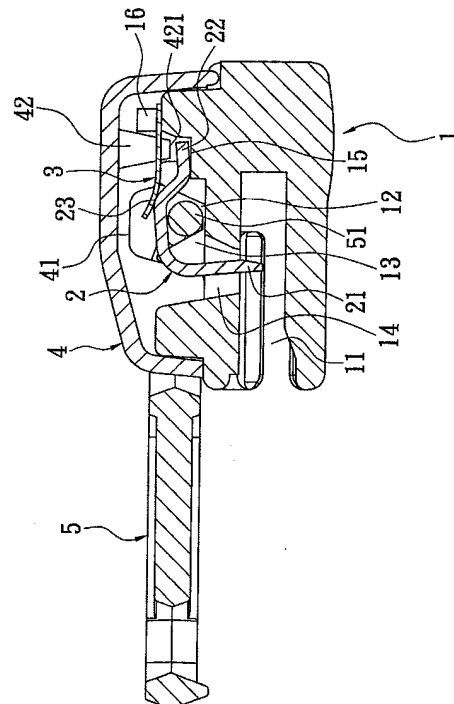
(54) 【考案の名称】ジッパーズライダ構造

(57) 【要約】

【課題】係止具の支点が大きく変位せず、係止具が変形されまたは予定の位置からずれる恐れのないジッパーズライダ構造とする。

【解決手段】ジッパーズライダ構造のスライダの内部にガイド溝が形成され、該スライダの頂部に収容部とスールホールを有し、該スールホールがガイド溝までに貫通する。係止具は、フック部と支点を有し、該係止具の上面に当接面が形成され、該係止具が該収容部に收容される。プルタブの端部は係止具の下方に位置され、ばね板の一端は該スライダに固定され、該係止具のフック部を該スライダのスールホールに貫通させ該ガイド溝部に伸び込むように、該ばね板が該係止具の当接面に押し付けられる。カバーの内部の両側に凸部がそれぞれ突設され、該カバーが該係止具とばね板の上方に覆われ、かつ、該カバーがスライダ上に固定され、該カバーの2つの凸部が該係止具の支点の上方に位置される。

【選択図】図4



**【実用新案登録請求の範囲】****【請求項 1】**

内部にガイド溝が形成され、その頂部に収容部および前記ガイド溝までに貫通するスールホールを有するスライダと、  
フック部及び支点を有し、その上面に当接面が形成され、前記スライダの収容部内に収容される係止具と、  
一端に端部を有し、前記端部が係止具の下方に位置されるプルタブと、  
一端が前記スライダに固定され、かつ、前記係止具のフック部を前記スライダのスールホールに貫通させ前記ガイド溝部までに伸び込むように前記係止具の当接面に押し付けられるばね板と、  
内部の両側に凸部がそれぞれ突設され、前記係止具およびばね板の上方に覆われ、かつ、前記スライダ上に固定され、その２つの凸部が前記係止具の支点の上方に位置されるカバーと、を含むジッパースライダ構造。

10

**【請求項 2】**

前記収容部の一端に平台が設けられ、前記係止具の支点が前記平台に支えられることを特徴とする請求項 1 記載のジッパースライダ構造。

**【請求項 3】**

前記 2 つの凸部の下端に限定面をそれぞれ有し、前記 2 つの凸部の限定面は、前記係止具の支点の上方に位置されることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のジッパースライダ構造。

20

**【請求項 4】**

前記収容部の両側に突出状のストッパが設けられ、これらのストッパは、前記係止具の両側を止めていることを特徴とする請求項 1 記載のジッパースライダ構造。

**【請求項 5】**

前記スライダの頂部に固定座が設けられ、前記ばね板の一端が前記スライダの固定座に固定されることを特徴とする請求項 1 記載のジッパースライダ構造。

**【請求項 6】**

前記フック部が前記係止具の一端に形成し、前記支点が前記係止具の他端に形成されることを特徴とする請求項 1 記載のジッパースライダ構造。

**【請求項 7】**

前記カバーの両側に切欠きがそれぞれ形成され、前記プルタブの端部が前記 2 つの切欠き内に挿通されたことを特徴とする請求項 1 記載のジッパースライダ構造。

30

**【考案の詳細な説明】****【技術分野】****【0001】**

本考案は、ジッパースライダ構造の改良に関わり、特に、係止具を位置決め付け、構造強度が良く、取り付け易いジッパースライダ構造に関するものである。

**【背景技術】****【0002】**

従来のジッパースライダ構造は、大体、スライダ、係止具、ばね板、カバーおよびプルタブを含み、係止具は、ばね板によりスライダのガイド溝内に伸び込むように押し付けられ、プルタブの一端が係止具の下方に位置され、カバーがスライダの上に固定され、かつ係止具およびばね板の上方に覆われる。例えば、中華民国特許証第M292296号に「ジッパースライダの組合構造(二)」が掲示されている。

40

**【0003】**

しかし、従来のジッパースライダ構造は、その係止具が、ばね板によりスライダのガイド溝内に伸び込むように押し付けられ、係止具がばね板からの弾力のみで固定されるため、プルタブの引張り力が大き過ぎると、係止具の支点が大きく変位される可能性があり、係止具が変形されまたは予定の位置からずれるようになってしまう。

**【0004】**

50

そのため、本考案者は、前記欠点を改良するために、長年以來この領域で積み立てた経験により、専念な観察かつ研究をし、さらに学術理論の運用に合せ、やっと合理的な設計且つ前記の欠点を有効に改良できた本考案を提案した。

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0005】

本考案の主な目的は、係止具の支点到にストップ機能を与え、プルタブの引張り力が大き過ぎても、係止具の支点が大きく変位せず、係止具が変形されまたは予定の位置からずれる恐れのないジッパースライダ構造を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0006】

前記目的を達成するため、本考案は、内部にガイド溝が形成され、その頂部に収容部および前記ガイド溝までに貫通するスールホールを有するスライダと、フック部及び支点を有し、上面に当接面が形成され、前記スライダの収容部に収容される係止具と、一端に端部を有し、前記端部が係止具の下方に位置されるプルタブと、一端が前記スライダに固定され、かつ、前記係止具のフック部を前記スライダのスールホールに貫通させ前記ガイド溝部までに伸び込むように前記係止具の当接面に押し付けられるばね板と、内部の両側に凸部がそれぞれ突設され、前記係止具およびばね板の上方に覆われ、かつ、前記スライダ上に固定され、その2つの凸部が前記係止具の支点の上方に位置されるカバーとを含むジッパースライダ構造を提供した。

【0007】

本考案は、以下の有益な効果がある。本考案の係止具は、ばね板が提供した弾力で固定する外、係止具の支点の上方に2つの凸部が設けられ、ストップの機能を与えるので、プルタブの引張り力が大き過ぎても、係止具の支点が大きく変位せず、係止具が変形されまたは予定の位置からずれる恐れは無い。また、2つの凸部が該カバー内部の両側に一体成形されるので、構造強度が良く、かつ取り付け易く、コストを有効に低下できる。

【0008】

本考案の特徴及び技術内容を、以下に本考案に関わる詳しい説明及び添付図面を参照することにより、深く且つ具体的な了解を得られるが、それらの添付図面が参考及び説明のみに使われ、本考案の主張範囲を狭義的に局限するものではないことは言うまでもないことである。

【考案を実施するための最良の形態】

【0009】

図1～図4を参照すると、本考案は、スライダ1、係止具2、ばね板3、カバー4およびプルタブ5を含むジッパースライダ構造を提供し、該スライダ1の内部にガイド溝11が形成され、歯の噛合のために使われる。該スライダ1の頂部には、係止具2に配合可能な収容部12を備える。該収容部12の両側に突出状のストッパ13が設けられ、該収容部12の両端にはスールホール14及び平台15がそれぞれ設けられ、該スールホール14は該ガイド溝11までに貫通する。該スライダ1の頂部の一端に固定座16が設けられる。

【0010】

該係止具2の一端はフック部21を形成し、該係止具2の他端は支点22を形成し、該係止具2の上面は当接面23を形成し、該当接面23がばね板3に当接されることができ、該係止具2は、該スライダ1の収容部12内に収容され、これらのストッパ13は、係止具2の左右への移動を防ぐため、該係止具2の両側を止めている。該係止具2のフック部21が、該スールホール14内に嵌め込み、該係止具2の支点22が該平台15に支えられる。該プルタブ5の一端に端部51を有し該端部51が係止具2の中央下方に位置される。

【0011】

該ばね板3は、弾性のよい金属材質で作製しシート状に形成され、該ばね板3の一端が

10

20

30

40

50

該スライダ 1 の固定座 1 6 に固定され、該ばね板 3 の他端が自由端に形成し、かつ、該係止具 2 のフック部 2 1 を該スライダ 1 のスールホール 1 4 に貫通させ該ガイド溝部 1 1 の内部に伸び込むように該係止具 2 の当接面 2 3 に押し付けられ、ジッパーの歯に係止され、また、該プルタブ 5 を引張って該係止具 2 のフック部 2 1 をジッパーの歯から分離させることもできる。

【 0 0 1 2 】

該カバー 4 は、底部が開口状になる中空蓋であり、該カバー 4 の両側に切欠き 4 1 がそれぞれ形成され（図 4 および図 5 を参照する）、プルタブ 5 の端部が該 2 つの切欠き 4 1 内に挿通する。該カバー 4 内部の両側に凸部 4 2 がそれぞれ突設され、該凸部 4 2 の下端に限定面 4 2 1 をそれぞれ有する。該カバー 4 が該プルタブ 5 の頂部を覆うとともに、該係止具 2 およびばね板 3 の上方に覆われ、該カバー 4 の両側が 4 箇所がかしめしてプルタブ 5 の上に固定され、スライダ 1、係止具 2 およびばね板 3 などをジッパースライダ構造に結合し形成させ、該カバー 4 の 2 つの凸部 4 2 の限定面 4 2 1 は、係止具 2 の支点 2 2 の上方に位置され、2 つの凸部 4 2 の限定面 4 2 1 で係止具 2 の支点 2 2 に位置制限効果を与える。このようにして、本考案のジッパースライダ構造を形成する。

10

【 0 0 1 3 】

本考案の係止具 2 は、ばね板 3 が提供した弾力で固定させる外、係止具 2 の支点 2 2 の上方に 2 つの凸部 4 2 が設けられ、ストップの機能を与えるので、プルタブ 5 の引張り力が大き過ぎても、係止具 2 の支点 2 2 が大きく変位せず、係止具 2 が変形されまたは予定の位置からずれる恐れは無い。

20

【 0 0 1 4 】

また、2 つの凸部 4 2 が該カバー 4 内部の両側に一体成形されるので、構造強度が良く、かつ取り付け易く、コストを有効に低下できる。

【 0 0 1 5 】

しかし、以上のように単に本考案の好ましい具体的な実施例に過ぎず、本考案の実用新案登録請求の範囲を局限するものではなく、いずれの当該分野における通常の知識を有する専門家は、本考案の分野の中で、適当に変更や修飾などを実施できるが、それらの実施が本考案の主張範囲内に納入されるべきことは言うまでもないことである。

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 1 6 】

【 図 1 】 図 1 は、本考案のジッパースライダ構造の斜視分解図である。

30

【 図 2 】 図 2 は、本考案のジッパースライダ構造の斜視図である。

【 図 3 】 図 3 は、本考案のジッパースライダ構造のカバーを外した構造を示す斜視図である。

【 図 4 】 図 4 は、本考案のジッパースライダ構造の断面図である。

【 図 5 】 図 5 は、本考案のカバーを示す斜視図である。

【 符号の説明 】

【 0 0 1 7 】

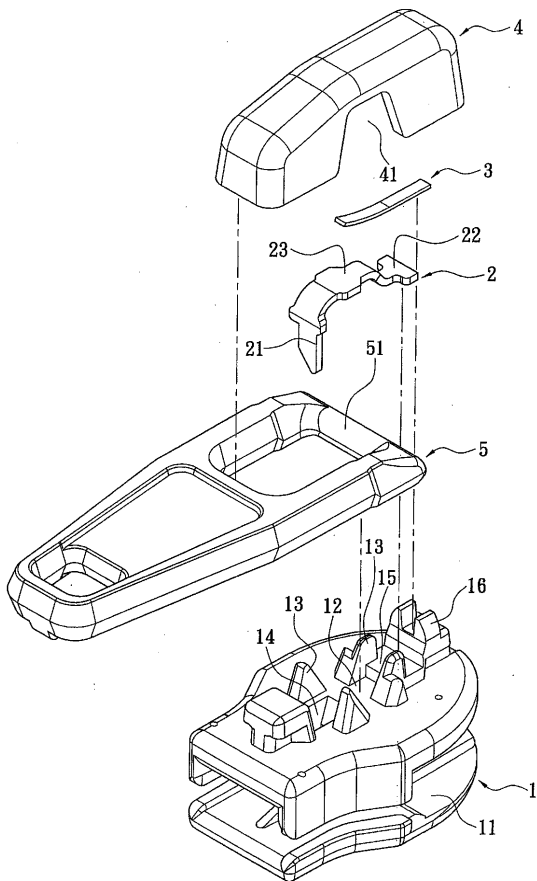
- 1 スライダ
- 2 係止具
- 3 ばね板
- 4 カバー
- 5 プルタブ
- 1 1 ガイド溝
- 1 2 収容部
- 1 3 ストップ
- 1 4 スールホール
- 1 5 平台
- 1 6 固定座
- 2 1 フック部

40

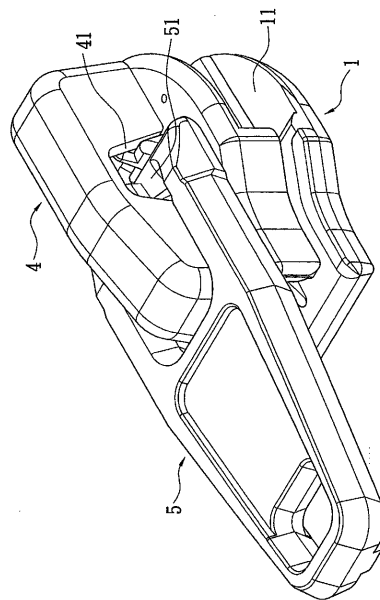
50

- 2 2 支点
- 2 3 当接面
- 4 1 切欠き
- 4 2 凸部
- 4 2 1 限定面
- 5 1 端部

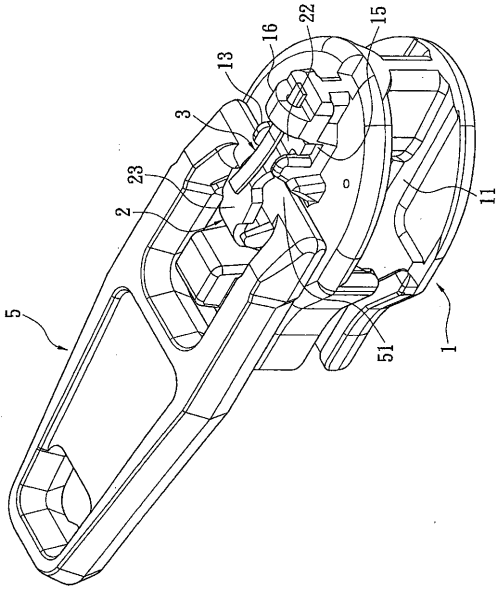
【 図 1 】



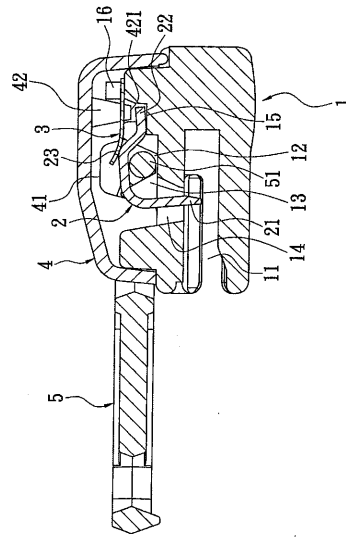
【 図 2 】



【 図 3 】



【 図 4 】



【 図 5 】

